



初心を忘れることなく誠実に

せたな町長 高橋貞光

新年あけましておめでとうございませう。皆さまには希望に満ちた平成26年の新春を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、基幹産業の農業は春先の低温と日照不足により作物の生育遅れを心配しましたが、6月以降の天候回復により順調に生育が進み、水稲は作況指数106と質・量ともに昨年に続き良好な結果となったほか、そのほかの作物につきましても総じて平年を上回る出来秋となりました。

一方、畜産では生乳・肉質ともに昨年並みの生産を確保しましたが、急激な円安による輸入穀物の上昇で配合飼料価格は、これまでになく高騰し過去最高に達したことから、畜産経営にとりましては厳しい1年となりました。

漁業では、主要魚種のスルメイカ漁が昨年並み、ナマコ漁は前年を上回りましたが、秋サケが昨年に続き不漁、ウニ漁についても8割の水揚げ、加えて燃油高や組合の負担増と漁業者の皆さんにとっても厳しい状況が続いております。

1次産業の取り組みとしては新たに農業塾を実施し後継者育成を行ったほか、基盤整備や家畜の資質向上、草地整備などを行い、水産では不漁対策、前浜振興対策などの施策を実施いたしました。これからも町の基幹産業である農林水産業の振興をしっかりと図ってまいります。

社会資本関連では、長年の悲願であった道道北檜山大成線が4月に開通したのをはじめ、道道八雲北檜山線の線形改良による危険個所の解消、町道雲内線災害防除事業の完成、町道舗装オーバーレイ事業の実施、国道では東雲橋歩道橋・美谷トンネルが調査設計、河川では新たに真駒内川改修事業に着手するなど要望が実現いたしました。

大成区の水道施設整備では、貝取潤地区と湯の尻地区への給水と久遠配水池が完成するなど、全体として社会資本の整備が進んだ1年でありました。

福祉では、「障害者グループホームのぞみ」がオープンしたのをはじめ、今冬から毎年一定の低

所得世帯に対し、灯油購入助成をすることとしました。また、当町から要望していたドクターヘリがいよいよ平成26年度に運航することが決定いたしました。子育て支援では1月から医療費の無料化を通院は中学生、入院は高校生までに拡大、また4月からは保育料を引き下げ、保護者の子育て費用の負担を軽減してまいります。これにより町民の皆さまの暮らしの安心・安全は一層向上することになります。

次に財政であります。現在、合併町であるせたな町は、他町より多い普通交付税を受けております。この優遇措置が平成27年度で終了し、平成28年度から5年間で段階的に削減されることとなります。現在、町民の皆さまや議員の皆さまのご意見をいただき、時間をかけ、新町のあるべき姿へと見直しを進めているところです。

そうした議論の方向に沿って新年度は大成診療所、せたな消防署を改築するのをはじめ、温泉入浴施設の見直しを図ってまいります。

せたな町も合併9年目となりました。私も町民の皆さまのご支持により、3期目の町政を担当することになり、あらためて責任の重さを感じております。

これからも初心を忘れることなく誠実に、そして町民皆さまには合併して良かったと感じていただけるように、しっかりと町づくりに取り組んでまいりたいと決意を新たに、新年を迎えたところであります。

町民皆さまのご多幸とご健康を心からお祈り申し上げます。年頭にあたってのごあいさつといたします。



未来を担う子どもたちのために

せたな町教育委員会教育長 成田円裕

新年あけましておめでとうござ
います。謹んで新春のお慶びを申
し上げます。

現在、教育委員会では、「第1次
せたな町教育推進計画」（平成22年
度～平成26年度）を基本に、「ふる
さとの未来を創る新しいせたなの
教育」を目指し、学校・家庭・地
域社会と連携・協力を図りながら、
総合的な教育行政の推進に鋭意努
めているところであります。

昨年は、児童生徒の基礎的・基
本的な「知識や技能」を活用した
学習を重視し、学ぶ意欲や、思考
力・判断力・表現力を育むことも
に、言語活動の充実に努め、また、
校内研修の充実、授業評価・改善
を積極的に行い、「分かる」授業を
目指したほか、家庭と連携し、家
庭学習の定着を進めるなど、児童
生徒の学習習慣の確立にも努めた
ところであり、今後も取り組んで
まいります。

また、平成25年4月に実施され
た「全国学力学習状況調査」の結
果を分析し、各校の学力向上改善
プランによる、指導方法の改善・

充実にも一層取り組んでまいりま
す。

さらに、小学校の外国語学習で
は、J・A・L・Tとして新たに教員
免許所有者を町独自で採用し、児
童の英語力のアップを図るととも
に、「総合的な学習の時間」を充実
させ、ふるさと教育と自ら解決す
る力の育成を目指します。

児童の「豊かな心」の醸成に向
けては自然体験や奉仕活動、勤労
観・職業観を育むなど、内面の健
全育成に努めるほか、心のノート
を活用した道徳の時間を改善・充
実し、参観日などでの保護者への
授業公開も行っていく予定です。

そして、「健やかな体」の育成を
目指すために、規則正しい生活習
慣と、体力向上のための運動習慣
を指導するほか、日常の給食指導
と栄養教諭による「食に関する指
導」を進め、健やかな体と食習慣
の関わりについての指導を一層充
実させてまいります。

「施設面」では、安全・安心な教
育環境充実のため、計画的な整備
に努め、平成26年には、耐震診断

の結果を受け、瀬棚中学校の耐震
改修工事を予定しております。

「社会教育」活動としては、魅力
ある生涯学習講座やスポーツ教室
などの計画的な実施や、社会教
育・スポーツ団体、国際交流活動
に対し引き続き支援を行い、ま
た、地域が学校を支える取り組み
として定着しつつある学校支援事
業や、ブックスタート事業につい
ても、地域やボランティアの皆さ
まの協力をいただき進めてまいり
ます。

さらに、芸術文化の鑑賞機会の
充実にも努めてまいりますので、
町民皆さまの積極的なご参加をお
待ちしております。

今後とも地域・家庭と連携し、
事業を推進してまいりますので、
町民の皆さまには、教育委員会の
活動に対しまして、これまで以上
のご理解とご協力をお願い申し上
げますとともに、本年もご健勝ご
多幸でありますようご祈念申し上
げ、年頭のごあいさつといたしま
す。



新年が皆さまにとって良い年でありますように

せたな町議会議長 菅原義幸

新年あけましておめでとうございます。平成26年の年頭にあたり、謹んでお慶びを申し上げます。

議員の残任期間も、余すところ1年余となりました。平成23年の4月の改選後、特筆すべき出来事の筆頭は、平成18年7月に発した「財政非常事態宣言」を、平成23年9月に解除したことです。

わずか5年で健全化を実現した原動力が、町理事者の努力だけでなく、町民のご理解とご協力にあることは明らかです。

交付税優遇措置が減少する平成28年度から、本格的な試練が始まりますが、行政サービスを確保しつつ、持続可能な財政を確立するために全力を尽くしたいと思いません。

二つ目は、昨年9月に町長選挙が実施されたことです。

主権者である町民が、選挙権の行使による町政審判の機会を得たことは、大きな意義をもつものです。二人の候補者が具体的な公約

を発表したことにより、全体として政策を選択する選挙になりましたが、議長の職をなげうって立起された前議長に、深く敬意を表します。

また、3選を果たした町長が、子どもの医療費無料化の範囲拡大や福祉灯油の制度化、保育所・幼稚園の保育料引き下げに踏み切ったことを、心から歓迎いたします。

三つ目は、昨年3月議会で一般会計補正予算案を、全会一致で否決したことです。

本来、町民の福祉や暮らしに使うべき4億6千万円の交付税交付金を、公共施設整備基金に4億2千万円も積み立てるという町側の提案に、5人が質疑し2人が反対討論を行い、全会一致で否決しました。これは、40年に及ぶ私の議会活動でも初めての経験でした。

今後、地方交付税は、町民が直面している暮らしや福祉に直接役立つように使うことを、強く求めるものです。

この間の議会活動についていえば、全員構成の「まちづくり計画調査特別委員会」で、重要案件の調査を行ったことが挙げられます。また、6回にわたるTPP交渉反対の意見書をはじめ、大間原発凍結や脱原発、地方財政対策や生活保護基準引き下げ見直しを求める多くの意見書を、いずれも全会一致で採択しました。

さらに、町内各団体との懇談会や国保病院医師・振興局課長・福祉事務出張所長を招いての勉強会を開催し、7月のTPP反対実行委員会立ち上げにも積極的に取り組みました。残された任期の中で、これからも全力で議会活動に取り組みたいと考えますので、よろしくお願いいたします。

新しい年が、皆さまにとって、より良い年でありますよう祈念いたします。新年のご挨拶いたします。

